

# 津 夢 実 現 ・ 挑 戦

津奈木中学校学校だより

令和7年11月28日

第 11 号

文責：校長 内場

## 美しいハーモニーを響かせて



11月18日（火）葦北郡中学校音楽会が芦北町地域活性化センターで開催され、本校から3年生が代表して参加しました。文化祭でも披露した「時を超えて」「手紙～拝啓十五の君へ～」の2曲を歌ってくれましたが、文化祭のとき以上に音の重なりや伸びやかな歌声、バランスが素晴らしく、会場の皆さんから大きな拍手をいただいていた。

講評をしていただいた平尾様からも、「津奈木中の子供たちの声にあった曲で、しっとりとした歌声がとても良かった。」とほめていただきました。また、他校の先生方からも、津奈木中生のハーモニーの美しさを称賛する声をたくさん伺いました。

文化祭で最優秀賞を受賞した後も、自分たちの強み（きれいな歌声とハーモニー）を高めようと努力してきたこの1か月の練習は、多くの人に感動を与える歌へと高まってきました。3年生にとって、大きな自信と達成感を感じた1日だったのではないかと思います。なにより、担任の先生からの「久しぶりに歌で感動した。」という言葉は、子供たちにとって何よりのご褒美だったと思います。

## きらり輝く津奈木☆

ある日の2年生の授業。プリントを配る先生に「ありがとうございます」の声。

後ろに回す生徒は、きちんと相手を見て手渡し。プリント配り一つとっても相手への思いやりが感じられる一コマでした。



## 小中連携授業研究会「人権学習」 互いに個性を尊重し高め合える仲間づくりをめざして

11月は人権旬間です。これに伴い、津奈木小中学校合同の授業研究会を開催しました。年に2回小中合同で行う授業研究会では「人権教育」と「学力充実」の2つのテーマで研修会を開催し、今回は中学校で人権学習の授業研究会を行いました。



授業研究会の様子

今回のテーマは「男女共同参画」。授業は男女平等に限らず、一人一人の生き方に着目し「自分らしく生きる」ことを考える内容でした。私が小中学生だった頃は、職業選択や振る舞いなどに対する「男女差」について様々な意見を見聞きしてきましたが、最近では表立った差別的な言動は少なくなってきたように思われます。それは子供たちの意識調査の中でも見られました。しかし、それが学級での個人の尊重となるとどうなのか。授業者は「困っている人に自然と手を差し伸べられているかな？」「周りの仲間が過ごしやすい空間になっているかな？」と投げかけ、子供たちは真剣に「自分のこと」「友達のこと」「学級のこと」を考えていました。

本校の生徒は、基本的に真面目で優しい子供たちばかりです。様々な人権課題に対しても、正しい知識と望ましい実践に向けた意欲は持ち合わせています。あとは、それを「いつでも、どこでも、できる実践力」につなげていくことが大切です。全職員で、しっかりと見守りたいと思います。

2、3年生でも人権学習を実施しています。その様子については、HPでご紹介しますのでご確認ください。



1年生授業の様子

# きらり輝く津奈木☆文化祭感想編)

## 【見通す力】

### ☆1年 佐々木 岳琉

今回の経験を通して気づいたことは、自分で考えて行動することです。素早く準備が終わって、終わっていないところを手伝うことによって、すぐに終わるということが分かりました。今後生かしていきたいことは、次の行動を自分で考えて、素早く行動することに活かしていきたいです。

### ☆2年 森本 祐宇

今回の文化祭で、私は練習を少しずつ積み重ねていくことや、準備や片付けのときに周りを見て行動することを意識しました。この経験をこれからの学校生活に活かしてもっとできるようにしていきたいです。

### ☆3年 濱田 彪羽

合唱などの練習で最初から諦めたりやる気を出さなかったりしたら団結することは難しいから、何事も最初から頑張って可能性を信じるのが大切だと思った。また、日々の練習や本番の熱い思いから良い思い出になる文化祭ができた。この文化祭の取組を通して学んだ、すべきことを探して進んで行動することや先を見通すこと、何事にも全力でとりかかるとをこれからの活かしていきたい。

## 【やり遂げる力】

### ☆1年 大川 莉未

中学生になって初めての文化祭を通して、全員で協力して最後までやり切ることを学びました。合唱コンクールの練習のときに、パートリーダーとして自分の役割に責任をもって練習することができたので、今後も活かしていきたいと思いました。

### ☆2年 一川 玲菜

最初は劇を一から作ることは中々難しいなとは思っていたけど、授業中や休みの日などに全員が準備をしたりしていて、無事に完成することができました。合唱の練習では、昼休みなどにも、練習をみんなでして、おかげでいい合唱を創り上げることもできてとても良かったなと思いました。これを今後活かして、またみんなで協力して取り組みたいです。

### ☆3年 高木 大幹

中学生最後の文化祭なので、多くの人が頑張ろうとしている一方、全員が同じような熱い気持ちを持っていない場面もあって、自分自身も最初から全てのことに熱を持っていなかったもので、本当に「集団」として一つの方向に進んでいく重要さを実感しました。このクラスとはあと少ししか過ごせないけれど、一つ一つに対して全員が同じ熱量を持っていきたいです。

## 【伝える力】

### ☆1年 篠原 由芽

他学年の舞台発表で「伝えたいことを分かりやすくまとめる」と伝わりやすく、記憶にも残りやすいということが分かったから、今後活かしていきたい。また、小道具作りは、思ったより大変で、良いものが作れるように何回も作り直したりしたけど、みんなががんばって協力したから良いものができたと思う。

### ☆2年 浦口 結仁

どんなことをやるにしても、一生懸命やらないと楽しくないし、見る側も面白いと感じないと分かりました。なので、どんな小さなことも一生懸命真面目に取り組もうと思いました。

### ☆3年 塩谷 妃洋

合唱コンクールの全体リーダーをやってみて、全体に指示することの大変さや今の状態から上達するにはどうすればよいか、練習計画など前よりももっと学級のことを考えるよききっかけになったと思いました。これからは指示する時には、どうすれば全体に伝わるのか考えていきたいと思いました。